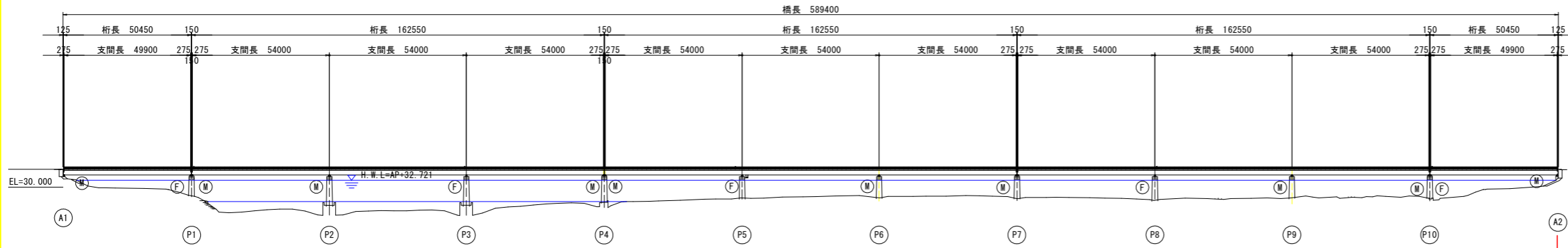
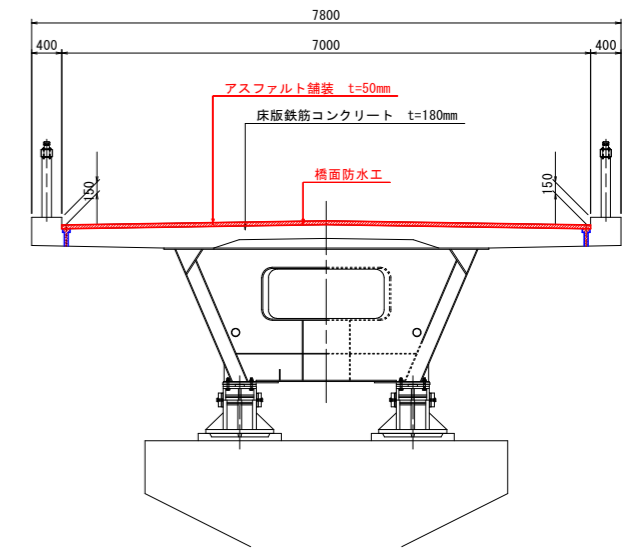


橋梁補修一般図 S=1:1000

側面図

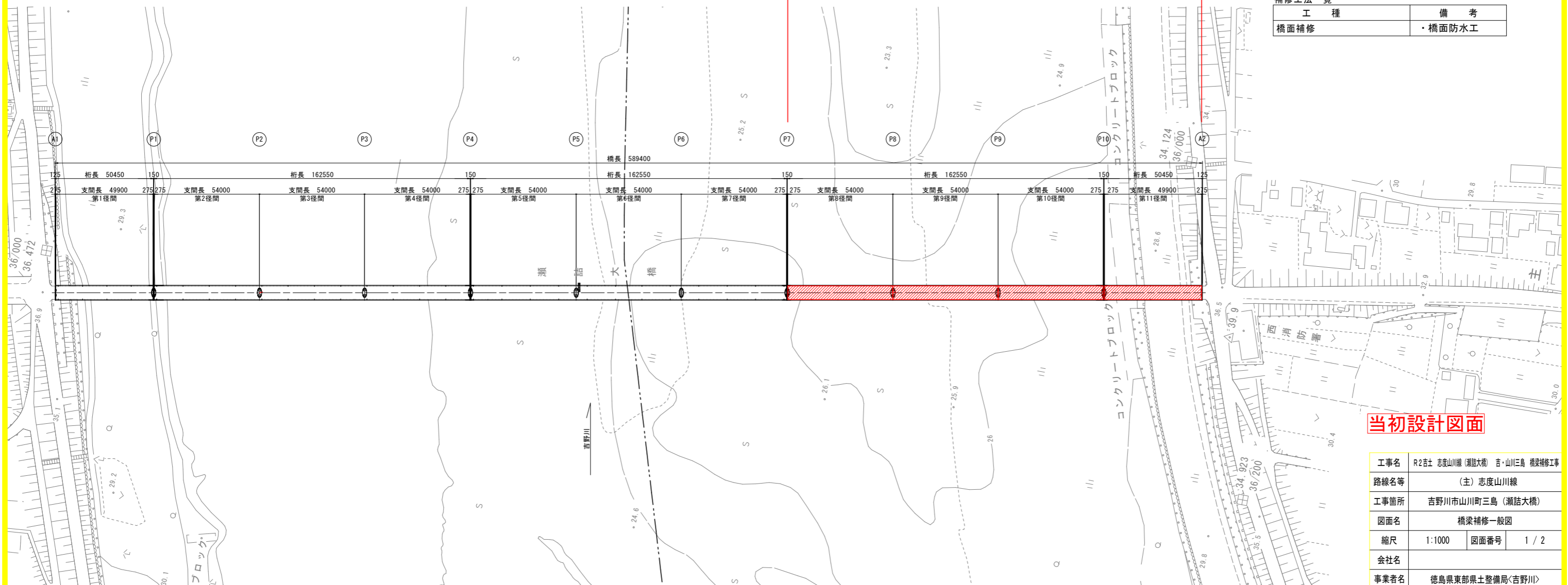


断面図 S=1:50



施工延長 L=212.6m (第8径間~第11径間)

平面図



補修工法一覧

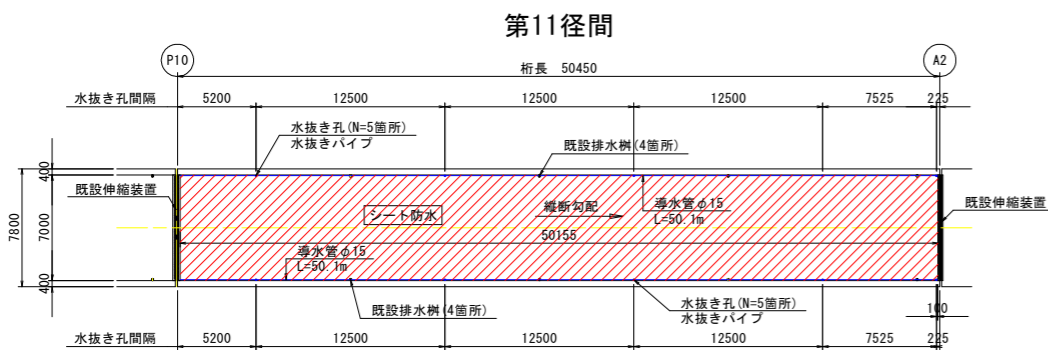
工種	備考
橋面補修	・橋面防水工

当初設計図面

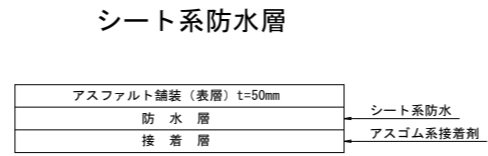
工事名	R2吉士 志度山川線(瀬詰大橋) 吉・山川三島 橋梁補修工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	吉野川市山川町三島(瀬詰大橋)		
図面名	橋梁補修一般図		
縮尺	1:1000	図面番号	1 / 2
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<吉野川>		

橋面防水工詳細図

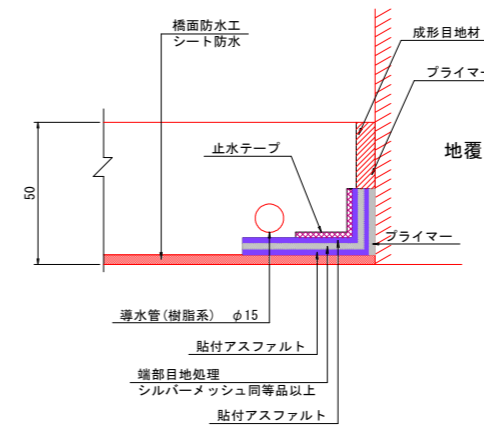
平面図 S=1:250



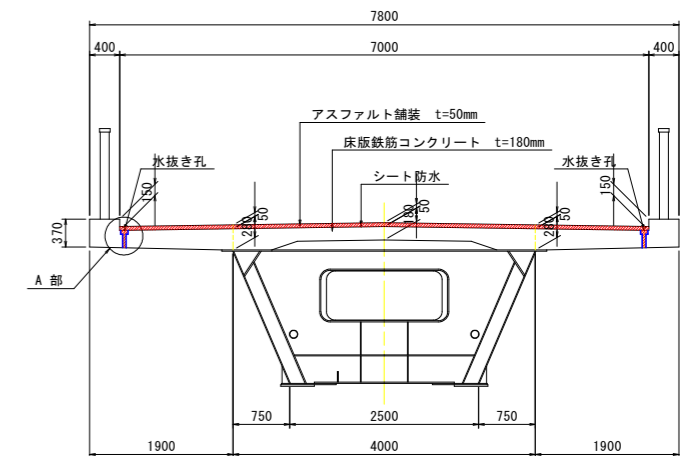
防水層構成断面図



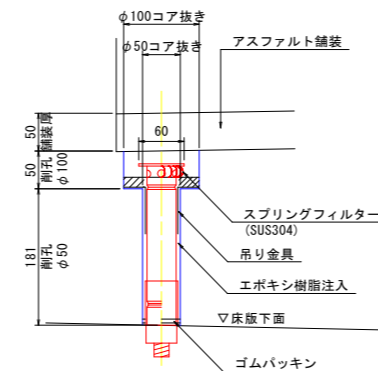
端部処理詳細図 S=1:2



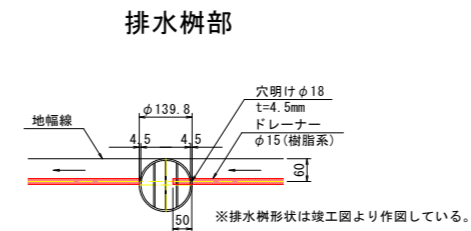
断面図 S=1:50



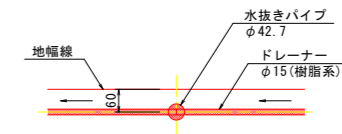
床版削孔(A部)詳細 S=1:5



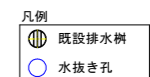
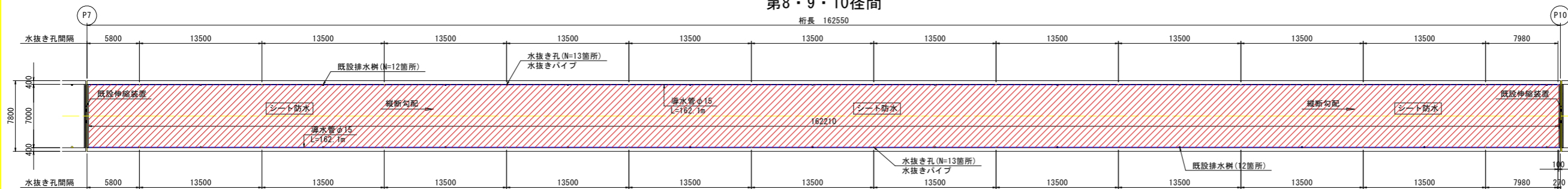
流末部詳細図 S=1:10



ドレーンパイプ部



第8・9・10径間



- 注記)
1. 舗装工事に際しては、現橋の路面高及び各箇所の寸法検測を行うこと。
 2. 図示の舗装厚は、設計時点の数値であり現橋との差異を確認すること。
 3. 伸縮装置を除く車道部全体に、シート系防水層を敷設すること。
 4. 既設舗装の撤去は、床版面を損傷させないように行うこと。
 5. 水抜きパイプの位置は、既設排水樹と排水樹の中央付近に配置することとし、鉄筋探索を行い床版鉄筋と干渉しない位置に適宜調整すること。
 6. 既設アスファルトの剥き取りは防水対策を行う上で重要な作業であり、アスファルトが残らないよう適切に表面処理を行った上で防水シートの施工を行うこと。

当初設計図面

工事名	R2吉土 志度山川線(瀬詰大橋) 吉・山川三島 橋梁補修工事		
路線名等	(主) 志度山川線		
工事箇所	吉野川市山川町三島(瀬詰大橋)		
図面名	橋面防水工詳細図		
縮尺	1:250	図面番号	2 / 2
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局<吉野川>		